

日本自動車工業会からの協力要請にもとづく コンテナターミナルのゲートオープン

ー夏季ピーク時における電力需要抑制策の一環としてー

この程、日本自動車工業会より、夏季ピーク時における電力需要抑制策の一環として、自動車メーカーの土・日曜日操業とこれに関する協力要請が、日本港運協会に提出されました。

6月1日付けで、協力要請書が提出されたもので、日本港運協会では、久保昌三会長がこれを受理致しました。

同工業会では、加盟13社が、日本政府からの要請に基づき7月1日～9月30日の間、休日を木・金曜日に振り替え、土・日曜日を操業日とする措置を決定しており、特に、コンテナターミナルでは、土・日曜日にゲート搬出入作業およびCY作業が発生することから、今回の要請となったようです。

港運業界では、既に港湾労組との協定で、前日の15時までに事前予約があれば、土・日曜日のゲート搬出入およびCY作業（所謂、ゲートオープン）が可能になっており、今回の要請も、具体的には、協定の枠内で実施されることとなります。又、実施にあたり発生するコスト増についても、協定にもとづく適正な料金収受が行われる事になります。

土・日曜日のゲートオープンは、これまでニーズが殆どなく、実際には、閉まっている事が殆どで、こうした実態からも特段の要請となったようです。